

平成24年度 第2回若葉区地域福祉計画推進協議会

日 時：平成24年10月24日（木） 午後1時30分から午後3時30分

会 場：若葉区役所2階 会議室2・3

出席委員：大嶋委員長、武副委員長、津田副委員長、横山副委員長、赤間委員、池野委員、石川委員、尾出委員、大島委員、尾崎委員、香取委員、小池委員、小出委員、関谷委員、長友委員、縫部委員、藤森委員、前島委員、柳原委員、山内委員、山谷委員、和田（真）委員、和田（文）委員

事務局（市）：菊谷所長、飯田室長、荒川補佐、及川係長、景山主任主事、萩原係長、中川主事

事務局（社協）：内山所長、渡邊主任主事、古橋事務員

欠席委員：江口委員、大塚委員、大西委員、上川畑委員、川島委員、野村委員、花島委員、山田委員

- 次 第：
- 1 開会
 - 2 大嶋委員長あいさつ
 - 3 新任委員紹介
 - 4 報告事項
 - (1) 若葉区地域福祉計画の進捗状況について（地区部会分科会）
千葉県社会福祉協議会加曾利地区部会 部会長 武孝夫氏
 - (2) 若葉区民生委員児童委員協議会定例会への訪問活動について
 - (3) その他
 - 5 協議事項
 - (1) 千葉県あんしんケアセンターの機能と地域福祉計画の連携について
千葉県あんしんケアセンター桜木 管理者 赤間美恵子氏
 - (2) その他
 - 6 その他
 - 7 閉会

大嶋 大嶋あいさつ

内山 新任委員の紹介

大嶋 若葉区地域福祉計画の進捗状況について、地区部会分科会から代表で武地区部会長にお話いただく。

1 加曾利地区の概要

各事業実施の経緯

- ・進む少子高齢化
- ・障害者施設との連携
- ・千葉市からの補助金

① 加曾利あんぜん・あんしんネット

見守りネットワークの基本的な考え方

- ・各地域に適合した見守り方法の確立
- ・対象者の個人情報保護の取り扱い
- ・災害時の対応

今後の展開

- ・町内自治会との更なる連携
- ・災害時対応すべき方々のリスト
- ・登録者周辺マップの作成
- ・町内自治会と社協が「ウィン・ウィン」の関係

② 加曾利たすけあいの会

たすけあい事業の基本的な考え方

- ・顔の見える関係の中でのたすけあい
- ・広く大きなエリアでのたすけあい

今後の展開

- ・町内自治会における「顔の見える助け合い」とのすみ分け、サポート、協働事業等の検討
- ・事業拡大—他地区要望に対する対応処置（将来のNPO法人化に向けて）
- ・事業内容の吟味と新規事業への取り組みの検討
- ・事業トータルシステムの確立（人・モノ・カネ等）

2 経過報告

3 質疑応答

前島 対象者は高齢者全般、障害者を有する家庭となっている。事前にチェック・審査はあるのか。

武 今のところチェックは行っていない。利用者に若い人はほとんどいない。庭木の剪などは若い人は出来るから必然的に高齢者が多い。

大嶋 実際に助け合いの要望は誰が受けるのか。

武 色々なルートがあるが、基本的に晴山苑に電話がいき、私に連絡がくる。そして私がコーディネーターに連絡をして、コーディネーターが現場に行き、打ち合わせをする。

和田 自分の地区部会も9月からたすけあいの会を始めた。利用者を探すのが大変だと感じた。草・木が茂っている家にチラシを配布するのはいかがなのか。協力員会員は報酬を頂くが、コーディネーターにはどのように報酬をあげているのか。

武 コーディネーターは1件につき1時間分、900円を頂くという形。集金に行く者は、1万円以上の件に限り、1件につき300円の報酬。ただ働きにならないように注意。ポストに入れる件は、最初我々も心配していたが、相手が喜ぶ結果になった。

大嶋 ありがとうございます。

若葉区民生委員児童委員協議会定例会の訪問活動について報告する。

民生委員の皆様へ支え合い・助け合いの仕組み作りへのご協力をお願いするため、運営企画委員が8地区の民生委員児童委員協議会の会議を訪問した。

また、7月15日に若葉区民生委員児童委員協議会の理事会があり、参加した。民生委員の住まいの地域で自治会、社協地区部会なりの中心メンバーとしてご協力頂きたいとお願いした。

それでは協議事項に入る。千葉市あんしんケアセンター桜木の管理者、赤間美恵子様にご講演を頂く。

赤間 千葉市あんしんケアセンターの機能と地域福祉計画の連携について説明

【資料に基づき説明】

- 1 あんしんケアセンター増設について
- 2 あんしんケアセンターの概要、業務説明
- 3 地域包括ケアについて、その取り組み
 - ・医療との連携強化
 - ・介護サービスの充実強化
 - ・予防の推進

- ・見守り、配食、買い物など、多様な生活支援サービスの確保や権利擁護など
- ・高齢期になっても住み続けることのできるバリアフリーの高齢者住まいの整備

4 質疑応答

- 大嶋 地域ケア会議の事務局は行政なのか、あんしんケアセンターなのか。
- 赤間 あんしんケアセンターがコーディネーター役なので、2月24日は私のところで行った。11月29日は各あんしんケアセンターが共同で行う。
- 大嶋 委員の選考は行政が行うのか。
- 赤間 あんしんケアセンターが選考する。
- 大嶋 行政の協力、参加を得た方がよいのではないか。情報の範囲が違う。
- 赤間 保健福祉センターと地域振興課には必ず出席頂いている。
- 大嶋 自治会の代表も考慮に入れて頂きたい。
- 赤間 声を掛けさせて頂く。
- 山内 地域包括ケアの取り組みの中の見守り・買い物に関するサービスは、具体的に相談がきた時にどの様な対応をするのか。
- 赤間 あんしんケアセンターは見守りをするにはあるが、実際に買い物や生活支援を行うわけではない。介護保険の対象である方は申請をしてもらい、介護保険の範囲内での生活支援をさせて頂く。対象でない方は、たすけあいの会、地域住民、有償ボランティア、シルバー人材センター等を紹介して繋いでいくことになる。
- 山内 わかりました。ご近所にすがりたいが、たすけあいの会もできていないところも多い。その辺がこれからの大きな課題。介護予防に関しても期待したい。
- 赤間 サービスを利用するにはお金が掛かる。これがネックになり、悩むところでもある。
- 大嶋 若葉区を4エリアに分け、きめ細かい充実を図るということで大いに期待する。委員の住まいのあんしんケアセンターと連携をとって進めていかなければと思う。本日はありがとうございました。